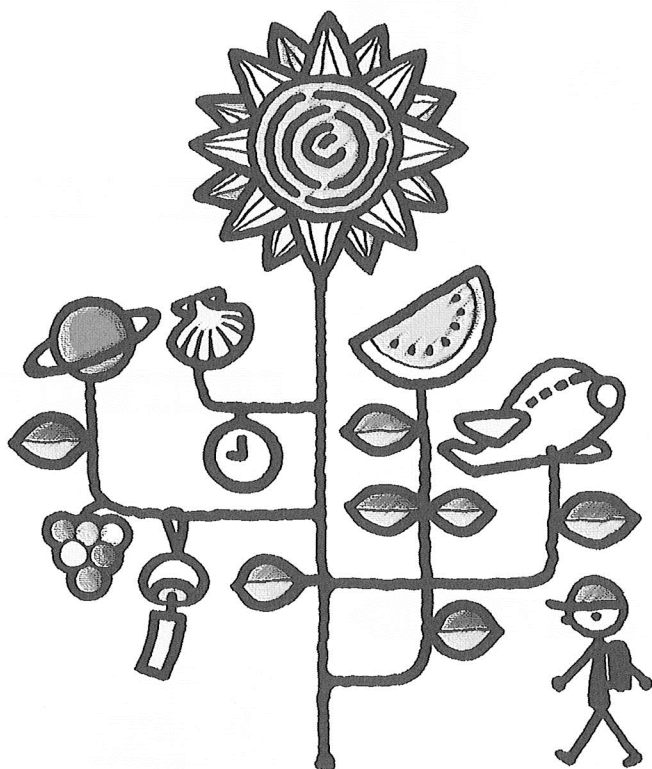


道

教

組

▶ DOKYOSO NEWS vol.505



## なんとしても、「戦争法案」廃案に!

人事院勧告

2年連続プラス勧告だが…

教育全国署名北海道スタート集会開催

原水爆禁止世界大会参加者の報告

わたしのとっておき

# なんとしても、「戦争法案」廃案に！

## 参議院で国会審議中、9月再び強行採決か？



突然の豪雨に見舞われつつ、1,800人が参加

国民多数の声を踏みにじって衆議院で強行採決をし、参議院に送られた「戦争法案」は、7月27日から参議院で審議が始まっています。

その前週には、7・24中央行動とその夜には「安倍政権NO！首相官邸包囲」が日比谷公園や国会周辺で行われ、新保副委員長と梶木書記長が参加し、シュプレヒコールを上げてきました。

その後26日には「安保関連法案に反対するママの会」が「渋谷ジャック」を、28日にも日比谷公園で戦争法案廃案を望む、1万5,000人もの人たちが集まりました。

### 参院審議で法案の危険性があぶり出された

参議院での審議が始まると、野党の追及でたくさん問題が吹き出しました。

まず、首相補佐官の磯崎陽輔氏が講演で「法的安定性は関係ない。(集団的自衛権行使が)わが国を守るために必要な措置かどうかを気にしないといけない」と立憲主義を否定した発言をしたことで特別委員会に招致され、磯崎氏は後日、発言を撤回しました。

次にお盆前には「防衛省統合幕僚監部が5月末に作成した内部資料」が出され、委員会は紛糾。「安保関連法案」が、審議が始まってもないうちから成立を前提として省内で検討され、さらに来年2月からはこの法案に沿ったスーダンPKO活動に自衛隊が憲法違反の武力行使「駆けつけ警護」をするというものでした。極めつけは、アメリカ軍と自衛隊の間を「軍軍間(ぐんぐんかん)」

と位置付けられ、その調整所の設置についても記載されていたことです。これは、これまでの国会で政府側からまったく提案されていない事柄で、国民に秘密裏で作業が進められているという、戦前の軍部の独走に類似する動きです。これに対し、中谷防衛大臣や安倍総理は「問題なし」との認識を示しており、国会軽視、民主主義の否定そのものです。憲法を蹂躪し、「戦争する国日本」の実現へ邁進する安倍政権を許すわけにはいきません！

### 「全国教職員投票」には組合員数以上の参加

全教・道教組がとりくんだ「投票」には、管理職や組合員のいない学校でもとりくまれ、たくさんの教職員が参加しました。8月20日時点で912票を集約、賛同をいただきました。

### 連日全国各地で、廃案めざして「総がり行動」

法案の8月中の成立はなくなったものの、9月中旬までに与党は法案成立を狙っていると報道されています。そのため、全労連・全教・道労連は、今後半月間の行動提起を行っています。

SEALDsや学生の会、ママの会、大学有志の会、高校生など、あらゆるグループがこの法案の廃案をめざして行動しています。



8・15ふるえるデモの参加者

会期末は9月27日(日)。参議院で強行採決させない、この法案を絶対に廃案にする、その思いをさらに広げ、大きな反対世論のうねりをつくるため、「自分の民主主義」をやりぬきましょう！

## 人事院 勧告

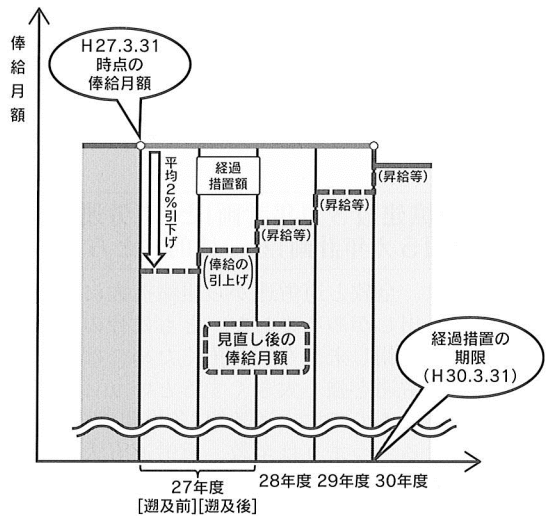
# 2年連続プラス勧告だが…

人事院は8月6日、国家公務員の給与が民間給与よりも月例給で1,469円(0.36%)、一時金で0.11月下回るとして、一時金を0.1月分を上げて4.20月とするなど、2年連続でプラス勧告をしました。しかし、円高や消費税増税などによると、生活改善にはほど遠い勧告です。

俸給表は、初任層だけでなくすべての号俸で引き上げました。しかし今年4月から強行された「給与制度の総合的見直し」に伴う「現給保障」により、今回の勧告分は実際の支給額に影響しません。その原資は地域手当段階的の引き上げの前倒し分に回され、地域間格差の拡大を招きます。

一方、人事院は、一般職国家公務員を対象とする「フレックスタイム制」の拡充に関する勤務時間法の「改正」を勧告しました。「働き方に対するニーズの多様化」「仕事と育児や介護等との両立」などを理由に挙げていますが、定員増が見込めないままでは長時間・過密労働と不払い残業の増加をもたらす可能性が懸念され、総労働時間を変えないままでは両立支援策にはなりません。

3年間、経過措置の対象者である場合



「給与制度の総合的見直し」で平均2%給与表が悪化したが、3年以内の「現給保障」がされている。そのため、今回プラス勧告といえども、0.36%の改善では、実質賃金にまったく反映されない。

## 10月8日から北海道は764円

### この最低賃金では生活ができない

北海道の最低賃金審議会は8月12日、2015年度の北海道最低賃金を16円(2.14%)引き上げて764円とし、10月8日に発効(予定)する旨の答申をしました。しかし、この金額では消費税の増税をはじめ、重くのしかかる負担増を補うことはできません。

#### 「健康で文化的な最低限度の生活」にほど遠い時給764円

時給764円では、1か月フルタイム(173時間)働いても総収入は132,172円で、ボーナスのない非正規労働者は、まともな生活ができません。

東京の時給888円と沖縄の時給693円では214円もの格差に広がったことも重大な問題です。

大企業が市場空前のもうけを出している中、労働者側は、消費税の増額、物価上昇、春闘での賃

上げを考慮し、50円以上の要求を出していました。それを無視するような回答になったのです。当然中小企業への支援も必要です。

アメリカをはじめ、先進国では自給1,800円が「あたりまえ」の水準になりつつあります。韓国で8%以上の引き上げが行われました。

引き続き最賃1,000円めざして全道・全国の仲間と要求を束ねてたたかきましょう。

#### 北海道の最賃の推移

2012年度	719円
2013年度	734円
2014年度	748円
2015年度	764円

# 中身濃厚!

## 道教組 委員長・書記長会議

7月28日～29日、札幌市内で「道教組 委員長・書記長会議」を開催しました。

今年は組織拡大強化の重点の年。日頃の単組代表者会議だけでは討議不足なため、この委員長・書記長会議で集中的に討議しました。

### 「全教組織建設3カ年計画」と「道労連組織拡大中期5カ年計画」を一体的にとらえる

今年度は、全教と道労連から組織拡大に関わる大きな打ち出しがありました。ともに今の困難極める情勢を打開し未来を切り拓くためには、全教・道教組・道労連を強く大きくするという「挑戦」にかかっているのです。道教組(各単組・連絡会)が大きくなる、つまりは全教、道労連も大きくなることが求められています。それをまず全体会で確認しました。

### 自分たちのアピールポイントは何かを出発点に

全体会に続き、組織規模に応じて2グループに



思いを交流する参加者

分かれて討議しました。はじめに自分たちのアピールポイント(良いところ)を見つめ直し、そこから課題や悩みを交えて交流しました。他単組の状況やとりくみを知ることで、今後のヒントや課題をとらえ直す機会となりました。

### 体験学習「戦争法案反対街頭宣伝」を実施

せっかくの機会ですから、紀伊國屋書店前で街頭宣伝を行いました。マイクでリレートークする人、ティッシュを配る人、署名を集める人、プラスターを持つ人、みんな自分のできることで、通行する人たちにアピールしました。

## 節目を迎えた道労連定期大会

道労連は8月1日～2日、札幌市内で第25回定期大会を開催しました。道教組からは、道労連の副議長を務めた新保副委員長をはじめ、代議員として川村委員長、梶木書記長、相田・柳両書記、全石狩札幌の三塚さんと瀬川さんが参加しました。



議長団の川村執行委員長、発言する梶木書記長

討議の中心は「道労連組織拡大中期5カ年計画」についてでした。各団体からは「組織拡大」にふれた発言が目立ち、困難な中でも職場要求に寄り添いながら、一步でも職場活動をすすめているところに加入者が生まれています。また、特徴のうち1つは、「戦争法案」に関わるとりくみでした。

### 道教組・梶木書記長の討論の概要

- 「全教組織建設3カ年計画」と「道労連中期計画」を一体的にとらえ、年間4回の集中月間を設定してとりくんでいる。情報の共有と一体感を生むためにニュースを発行している。
- 「戦争法案」に関して、地方にキャラバン宣伝に行ったり、委員長・書記長会議の時に参加者みんなで札幌で宣伝し、とりくみを広げてきた。
- 強く大きな道教組・道労連をめざしたい。

2日間の大会で「道労連中期計画」をやりぬこうと議案を全会一致で可決しました。

なお、副議長を務めた新保副委員長は退任し、執行委員として再任されました。

# 教育のつどい in 宮城開催

報告 新保 裕

仙台市において8月16～18日、「教育のつどい in 宮城」が開催され、開会集会には全国から1,400名が参加しました。道教組は、レポーター8名、司会1名、専従1名の計10名が参加し、全国の参加者と学び、元気をもらえる教研集会でした。

そして、今年は戦争する国づくりに暴走する安倍政権に対し、「憲法や子どもの権利を大切にされた教育を」との声が高まる中での教研集会でした。

開会集会では、地元宮城の高校演劇OBによる「祖父の記憶」が上演され、人間もろとも体当たりし、命と引き換えに敵艦を沈めようとする人間魚雷「回天」にまつわるストーリーで、戦後70年を振り返るのにふさわしい感動的な演劇でした。

その後、報道キャスターの金平茂紀さんによる講演で、メディアの役割は「権力の監視、少数者の視点、多様な意見の確保」などがある。しかし、今のメディア界は劣化している。これからは「外とつながる、横とつながる、いつもユーモアを持ってとりくむこと」を強調して語ってくれました。

次は石巻元教員の徳永さんによる現地レポートで、石巻の子どもたちの現状に危機感を感じました。それは、貧困、家庭崩壊、自己責任による不登校の多さ。石巻の不登校は4年連続全国ワースト1なのです。「県教委の学力向上路線ではなく、復興教育が必要。故郷を愛し、故郷の復興のための学力が必要なのです」と報告してくれました。

夕方から9つの教育フォーラムが開催され、新保は「教育への新たな統制は何をねらうのか？」に参加。教科書検定や道徳の教科化などについて最新情報を聞くことができました。

17日からは分科会が東北大学などで開催され、道教組のレポーターは各分科会で実践を発表しました。



## 教育全国署名北海道スタート集会開催

財務省・文科省に教育条件整備の要求を！  
12月までに、組合員一人30筆をめざして！

8月26日（日）、ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会総会、全国教育署名北海道スタート集会が高校センターで開催され、全道から38名の教職員、退職者、保護者が参加しました。道教組からは、川村委員長、全石狩札幌、空知教組、書記局が参加しました。

総会では、昨年度のとりくみの経過報告、今年度のとりくみとして「教育キャラバンの続行」「全道10万筆を目標に教育署名を集める」「紹介議員の要請を含め、請願の道議会採択をめざす」ことなどが提起され、承認されました。

総会後、全教副委員長の中村尚史さんによる情勢学習を行い、「日本政府は教育費の保護者負担を軽減させ、競争主義的な教育制度を改めること」など語られました。

スタート集会では、経験交流、決意表明として道教組の小西博光さん、高教組からは本多由紀子さん、保護者からは松本喜久枝さんから少人数学

級の必要性、教育キャラバンの意義、全国スタート集会（東京）の様子などが語られました。

### 雨の中、大通公園で街頭宣伝を実施

総会後、短時間でしたが大通西3丁目で街頭宣伝を実施。チラシを配布し、全教中村副委員長からの訴えを行いました。



# 原水爆禁止世界大会参加者の報告

## 平和への決意を新たにしました！

厚岸町太田小学校 齋藤 鉄也

1999年の長崎大会以来16年ぶりの参加となりました。新卒間もない若い時の参加とは感じ方もまるで違います。感想は「全釧路情報」No.13～15に書きました。

毎年代表を送り出すとりくみを継続している標茶支部以外では、全釧路教組からは久しぶりの代表派遣となりました。釧根代表団には5名の高校生をはじめ、多くの青年が参加しています。退職したばかりの河井先生夫妻も参加していました。

夜は、毎日遅くまで語り合いました。初参加の若い人たちは、被爆者の話を聞いたり学習を進めていくにつれて、その感動を熱く語り合っていました。そこに何度も参加してきた人が加わって、カンパをくれた人の期待や歴史の重み、そして今後の自分の姿勢にどうつながっていくかが大切だといった話をしました。

若い人たちもベテランも、どちらも熱い思いを持って参加しています。大会での感動を語り合うことは、自分の人生に引き寄せ、意味づけることとなります。今後の生き方にもつながります。このとりくみは、今後もぜひ継続させていきたいと感じました。

6日の夜、灯籠流しを見ました。とても幻想的な美しさで、この小さな光の一つひとつに、当時ここで亡くなった方々の命が灯っているのだと、



後列右から2人目が齋藤さん

命の儚さを感じました。そして同時に、人間の強さ、可能性も感じました。一つひとつの灯籠はとても小さな弱い光ですが、それがたくさん集まった時に、幻想的な美しい風景を作り出すのです。たくさんの平和への声が集まったとき、灯籠流しと同じように輝きを放ち、世論を動かす大きな力となっていくのだと信じて、これからも行動を続けていきます。

## 「富樫耀」という1人のフィルタからの原水禁

せたな町大成中学校 富樫 耀

「ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ウォー、ノーモア・ヒバクシャ」この言葉のたびに、会場6,000人が拍手する。被爆70周年原水禁世界大会を通して、私は上記の言葉を少し自分の中に落とせたと感じている。

大会では、被爆者の方々のお話、被爆した建物や品々を直に見聞きすることができた。それは学生時代、「授業である」という視点で間接的に見る経験とは大きく違った。自分の意志で、自分の体で感じた「被爆」は事実認識だけで終わるのではない。「これを多くの人に感じてもらいたい、考えてもらいたい」という先の思考へ繋がったのである。

「気持ちがなくとも行動を起こすことで、何かしらの気持ちが芽生えるということもあるかもしれない」こう考えることにした。考え悩むことも大切だが、それで始めの1歩が遠のいてしまうの



被爆者であり語り部の田中さんと（左：富樫さん）

なら勿体ない。行動していくことで自分の気持ちも整理していけるだろう、そう信じていく。

被爆から70年、被爆された語り部も減りつつあるとの話があった。原体験がない人たちが、原体

験のない人たちに伝えていく、このような形態も出てくるのであろう。そういう時に、人の気持ちを愛深く受け取り、伝えられる人たちが大切なのだと思う。私もそれを支えられる人になりたい。

## 合同教育研究全道集会2015に全道からお越しください

今年の全道合研は11月7・8日、札幌学院大学で開催されます。自分たちの実践を持ち寄り、元気の出る実践交流ができればと願っています。

詳しく知りたい方は、全道合研ホームページで今年のチラシや昨年の内容をご覧ください。

[goken-hokkaido.jp](http://goken-hokkaido.jp)

### ★11月7日(土)

【テーマ討論】 9時45分～12時15分

- ①憲法と平和を考える ②18歳選挙権、高校生や若者に身に着けてほしい力 ③インクルーシブな教育の方向性 ④道徳教育の創造
- ⑤アイヌ民族はどうか教えられているのか

【分科会】 13時30分～16時15分

【教育の夕べ】 16時30分～18時30分

◎池澤 夏樹さんによる記念講演(小説家)

「原発、沖縄基地、憲法、教育…～日本の将来、国家移動の未来～」

### ★11月8日(日)

【分科会】 9時30分～15時

## 平和を求め、矢白別に550人集う

8月8日、9日、第51回矢白別平和盆おどり大会が矢白別演習場にある川瀬牧場で開催されました。今年は「戦争法案」が国会審議真っ直中ということもあり、「戦争法案廃案!」「安倍政権にレッドカードを!」という思いをみんなで語り合いました。平和を求め道内外から約550人が参加し、道教組からは約50人参加しました。



### 編集後記

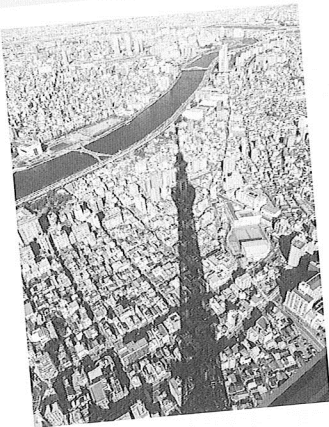
仙台の「教育のつどい」ですてきな教師に出会いました。宮城県教組のT先生です。先生の実践には「憲法は、最高の道徳の教科書」「12歳の主張」などキラキラ光るとりくみがあるのです。6年生の3学期は、社会科で「日本国憲法」の学習を「新しい憲法の話」を使って行います。海外ドラマ「アンネの日記」、「第2次世界大戦」、「アウシュビッツ」、そして、「地域の戦争調べ」を子どもたちとしてきました。白石市出身の戦没者1,602名分の名簿を使っての学習も行います。この学習を通し

て、子どもたちは人格が陶冶され、グッと大人になるということ実感しているとT先生は語っていました。教師のぶれない実践スタイルを教えられました。

また、卒業に向けては総合的学習「12歳の主張」にとりくみ、世の中で起きている問題を取りあげ、原稿用紙5枚以上にまとめ発表させるのです。今起きている社会問題に目を向けさせ、考えさせる授業は、子どもたちを本気にさせ、成長させるのです。(新保)

# わたしのとっておき

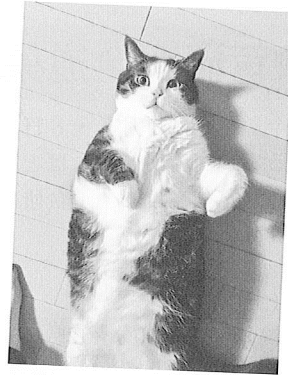
“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



## 「スカイツリー」

今年1月、家族旅行で上りました。これは展望台からしか撮れないスカイツリーの影です。さらに上の展望回廊からは富士山が見えました。近くには隅田川が流れています。

【梶木 康展(道教組書記長)】



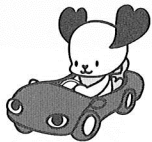
## 「我が家の長男」

生意気な娘たちがみんな母より大きくなり、上から見下ろされる毎日。三匹の愛猫が私の癒しです。写真は、甘えん坊でママっ子の我が家の長男。この無垢な表情で、私と娘たちのバトルを仲裁してくれるのです。

【相田 美幸(道教組書記)】

# 全教自動車保険

あなたをマモルン見積りキャンペーン実施中  
年4回の抽選で全国で計2000名にプレゼント



小納各部長  
(川上企画)



見積り依頼で、  
ハーゲンダッツ  
ミニカップギフト券を  
プレゼントします。

しかも、  
今ならご紹介者にも  
ギフト券を  
プレゼントします。

提携 東京海上日動火災  
保険株式会社

## 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 川上企画 (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2015年9月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ http://www.dokyoso.net